

構成は、できるだけ簡単にし、基礎的事項の主である「協働」のみを伝え、最後は参加を訴えて終わりです。

「箕面のあした」

次期箕面市総合計画策定向けた
市民会議の提案・中間報告

身近な問題を考えよう

■人と人の関わる問題

- いじめ、近所づき合い、差別、格差、少子高齢化…

■人と自然の問題

- 子供の自然体験がない、里山の荒廃、モッタイナイの喪失…

■自然の問題

- 自然が周りからなくなったり、多様性の減少…

時代の変化

- 地方分権が進み、国からの支援が望めない。
- 財政危機
- 赤字をどうするのか？ 施策をどうするのか？ 市民も考えなくてはならなくなったり。

次世代に残せる計画

- 私たちだけの世代の問題ではない。
- 次の世代に残し伝えていけるすばらしい箕面にしていきたい。
- 持続可能な計画を提言したい。

どのように市民の暮らしを守るのか

- 行政が守ってくれるのか？
- 自分だけで守れるのか？

自助・共助・公助

- 「自助」とは、自らの暮らしは自らで守るという考え方
- 「公助」とは、行政が市民の暮らしを守るという考え方
- 「共助」とは、行政と市民の協働による地域社会全体で地域の方々を守るという考え方 → これからの方針

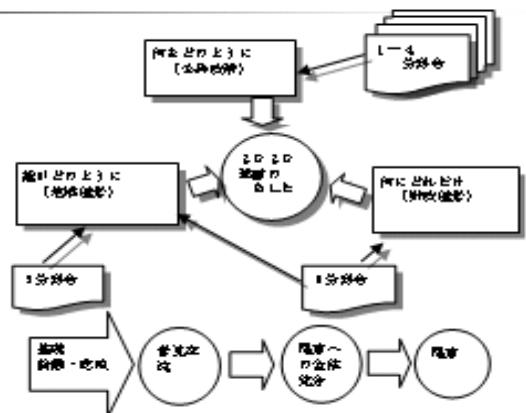
行政と市民の協働がさらに重要となった。

- 市民の役割がますます重要となった。
- 従来の市民参加をさらに広げ市民の役割をより明確にしたい。
- その方向を行政に提言したい。

これからの総合計画

- 持続可能な計画
 - 自然環境
 - 社会環境
 - 財政状況
- 市民参加による協働

6つの分科会のアプローチ



あしたの算面をつくるのは
■市民の出番です。
■市民会議ではあなたの入会をお待ちしています。

おわり

あなたも一緒に考えませんか？

- 6つの分科会の報告を聞いていただき、関心のあるところの分科会メンバーにぜひひなってください。
- また、ご意見をください。

